自治会・町内会活動に関するアンケート
調査結果

令和5年3月
尾張旭市市民生活部市民活動課

すくすく のびのび
尾張旭市

〈目次〉

1 アンケート概要 1

2 アンケート結果 2

問1　回答者の役職について
問2　回答団体の小学校区と自治会名・町内会名について
問3　会長の性別について
問4　会長の年齢について
問5　会長の選出方法について
問6　会長の任期について
問7　一世帯当たりの町内会費（年間）について
問8　会長の手当て（報酬等）の有無と年間の金額について
問9　加入者に対する特典や免除規定の有無と内容について
問10　会長として活動した内容とおおよその年間回数について
問11　自治会・町内会を運営する上で重要だと思う活動と充足していると思う活動について
問12　持っているデジタル機器について
問13　よく使用する SNS 等について
問14　デジタル機器の使用目的について
問15　今後の回覧板の電子化の可能性について
問16　自治会等を運営する上での課題
問17　自治会等を運営する上での課題に対する解決策について
問18　会長として活動した中で負担だったことと行政からの依頼事項で負担だったこと
問19　自治会等が抱える地域課題について
問20　自治会等活動について、日頃感じていることについて

3 まとめ 28

1アンケート概要

⑴調査目的

自治会・町内会の課題や支援ニーズを把握し、協働によるまちづくりに活かすこと

⑵調査対象

尾張旭市内の自治会（51名）・町内会（187名）の会長

⑶調査方法

記入式・インターネット入力式による無記名アンケート

⑷調査期間

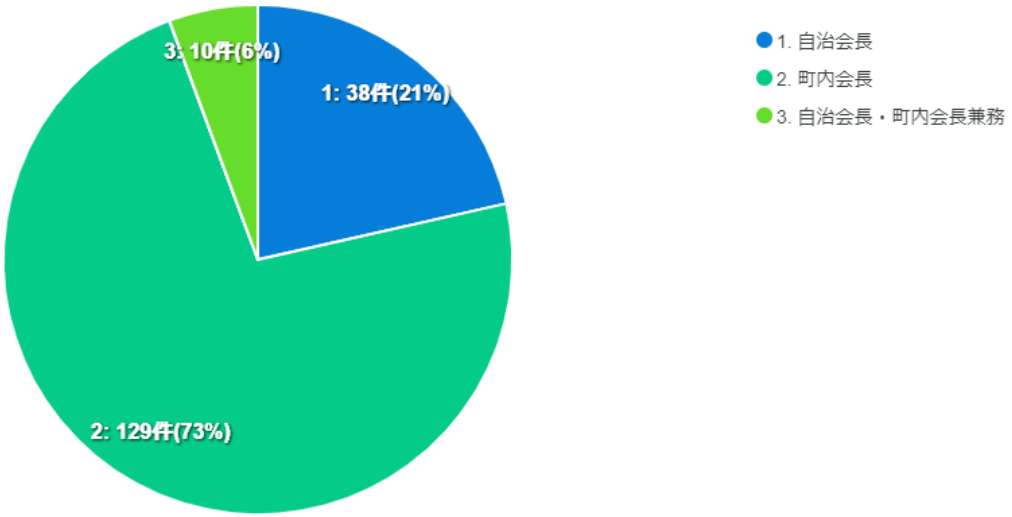
令和5年1月5日から令和5年2月28日まで

⑸回収状況

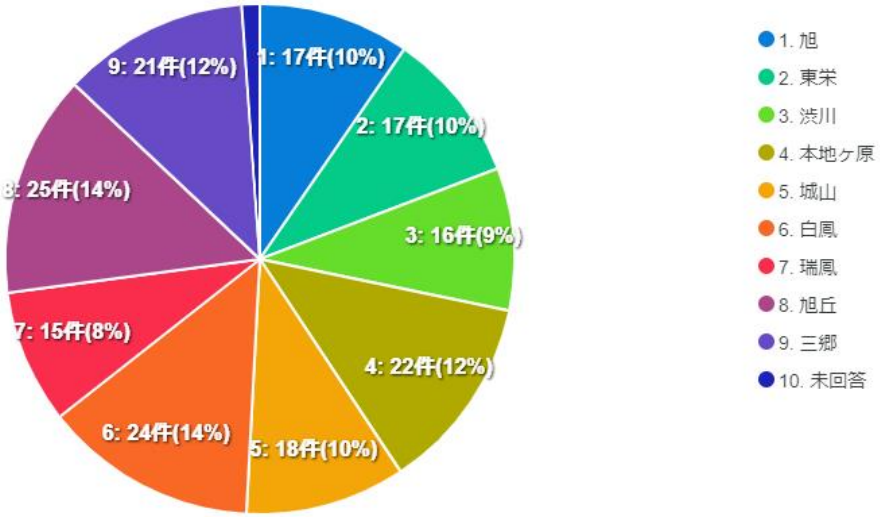
	回収件数	回収率
自治会（51団体）	38件	74%
町内会（187団体）	129件	68%

2アンケート結果

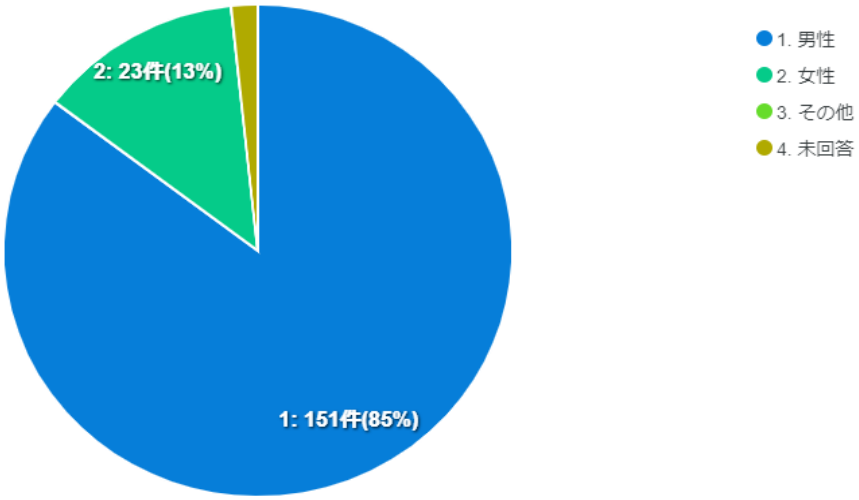
問1回答者の役職について



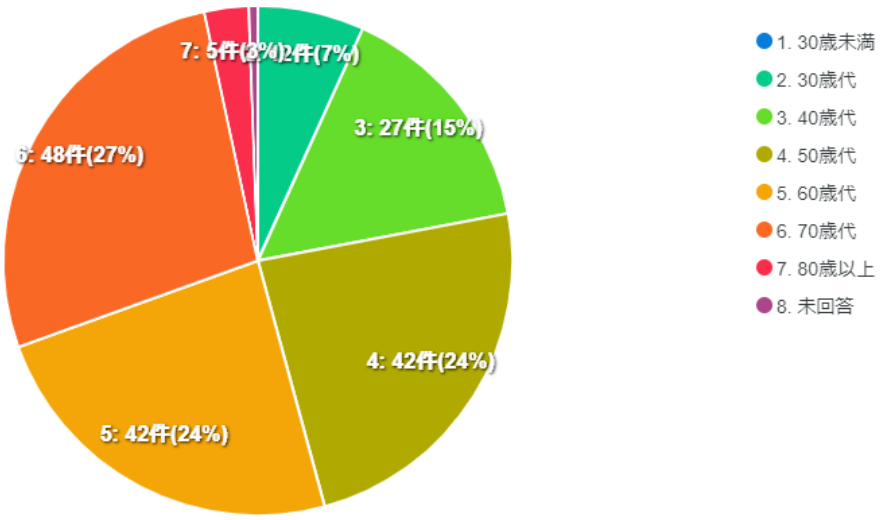
問2回答団体の小学校区と自治会名・町内会名について



問3会長の性別について

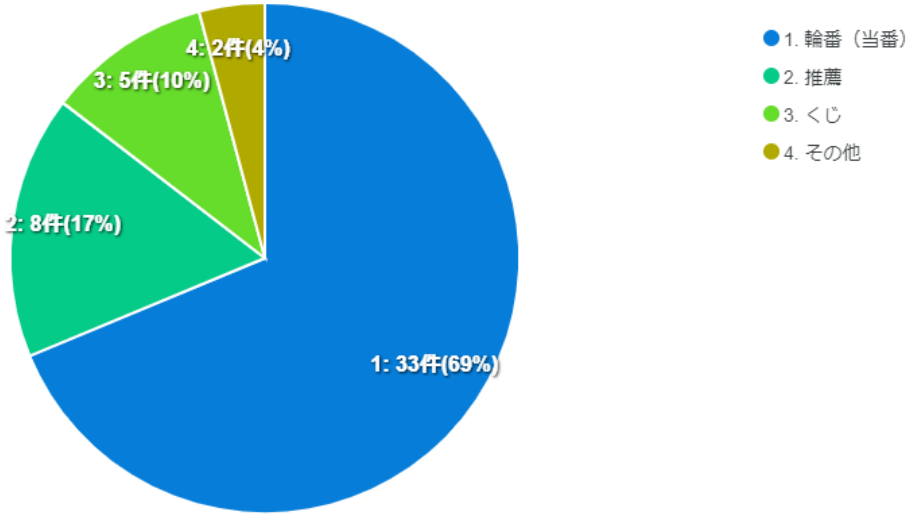


問4会長の年齢について

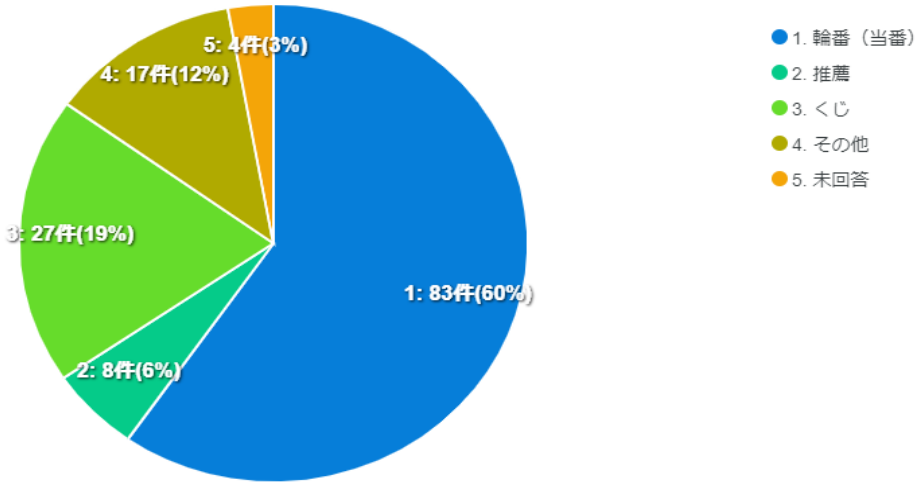


問5会長の選出方法について

【自治会長】

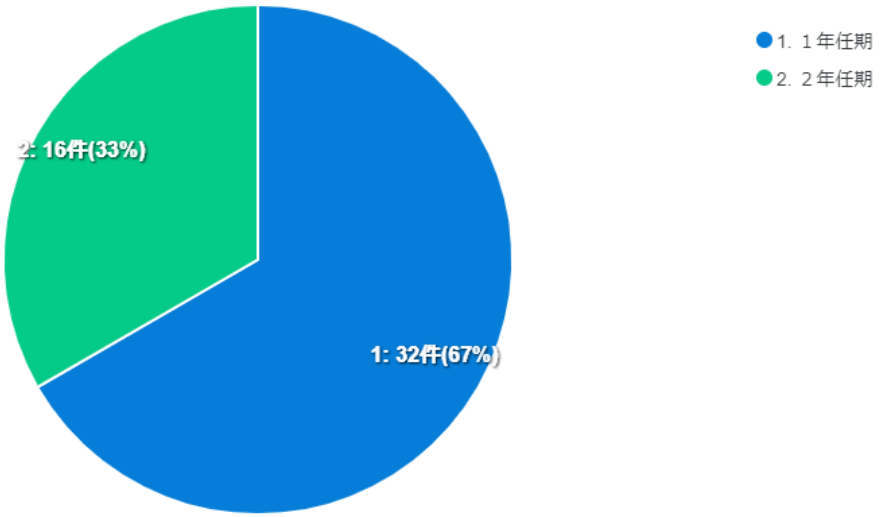


【町内会長】

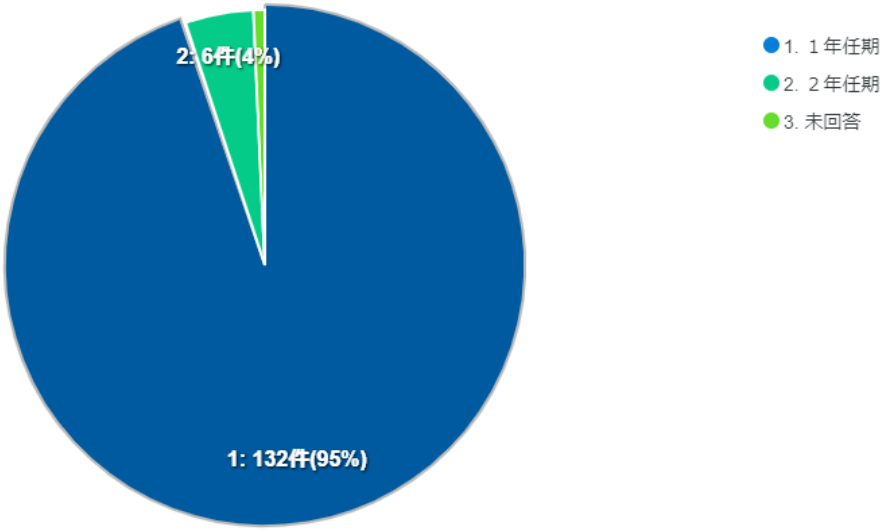


問6会長の任期について

【自治会長】



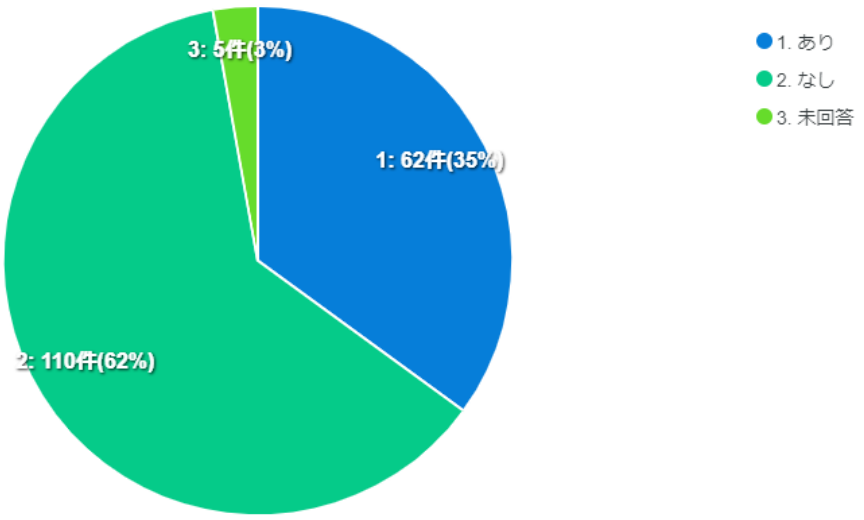
【町内会長】



問7一世帯当たりの町内会費(年間)について

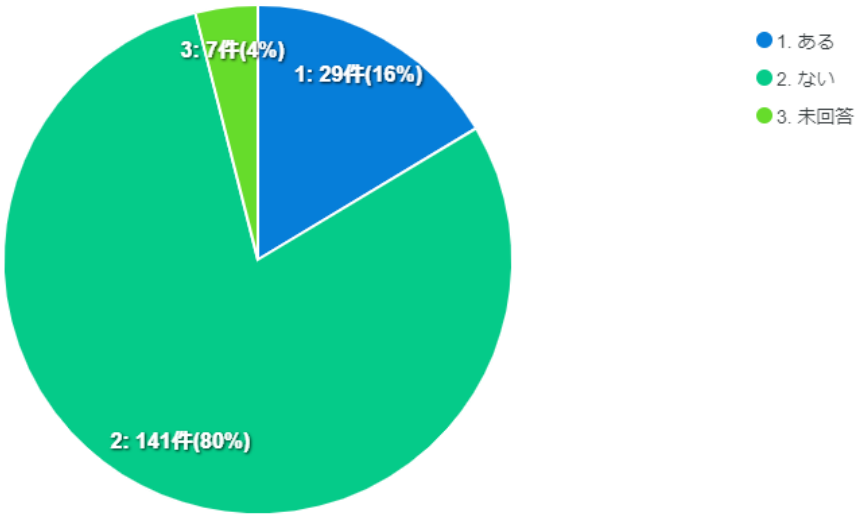
町内会平均約2，400円

問8会長の手当て（報酬等）の有無と年間の金額について



―報酬ありの場合―
【自治会長】
平均約17，476円
【町内会長】
平均約10，000円

問9加入者に対する特典や免除規定の有無と内容について



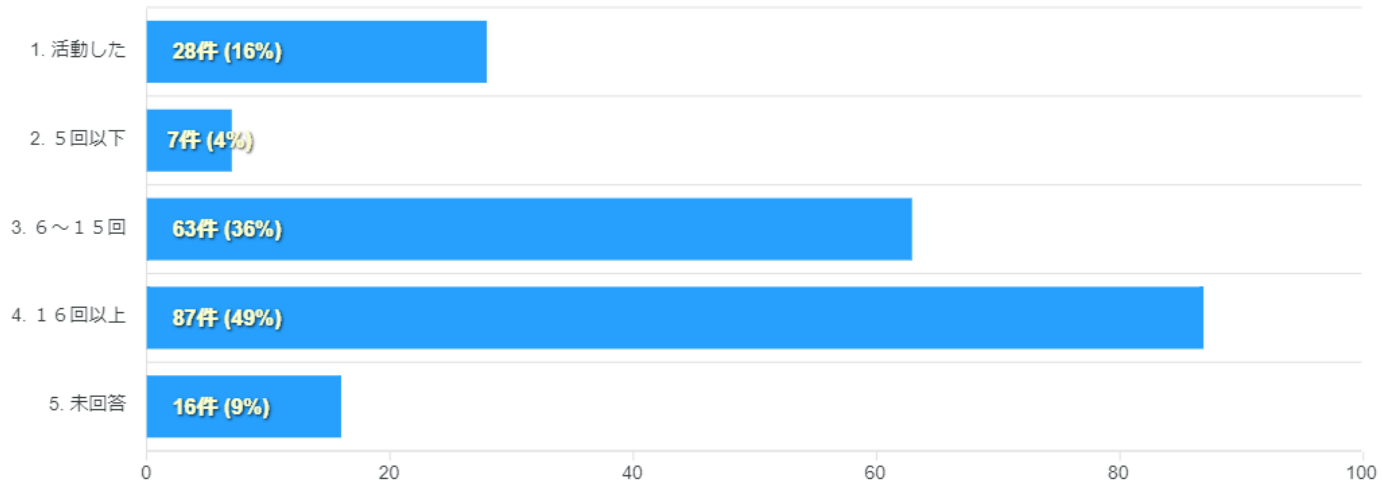
【特典や免除規定の内容】

- 高齢者(75歳～80歳以上)の役員免除
- 病気を理由とする役員免除
- 家族全員が 80 歳以上の会員は役員を免除している
- 消火器補助(自己負担2，000円で3，980円の消火器お渡し)
- 出産祝い、小学校入学祝い、各 5 千円、敬老祝い
- 防災セットとして簡易消火器、水を入れる携帯タンク、非常食をプレゼント。入会金免除
- 介護の世帯の役員免除

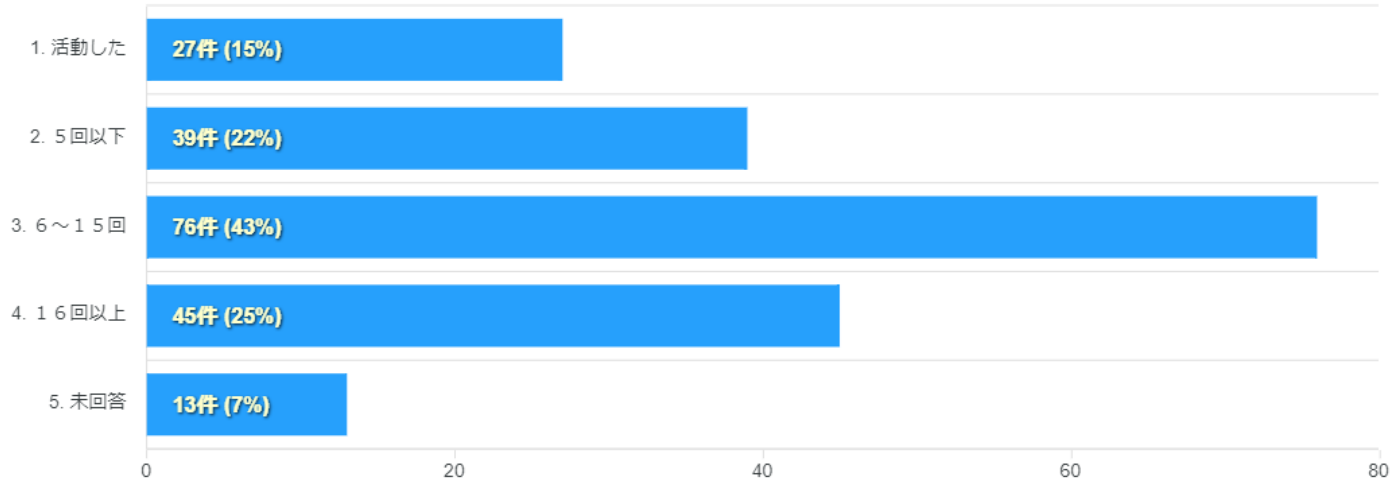
世帯構成や年齢構成等によって特典や免除規定を定めている自治会・町内会もございます。各自治会・町内会によって課題は様々ですが、状況によっては加入者に対する特典や免除規定を設けることで、困っている方の脱退を止めることや新規加入者への加入のお声かけも行いやすくなります。

問10会長として活動した内容とおおよその年間回数について

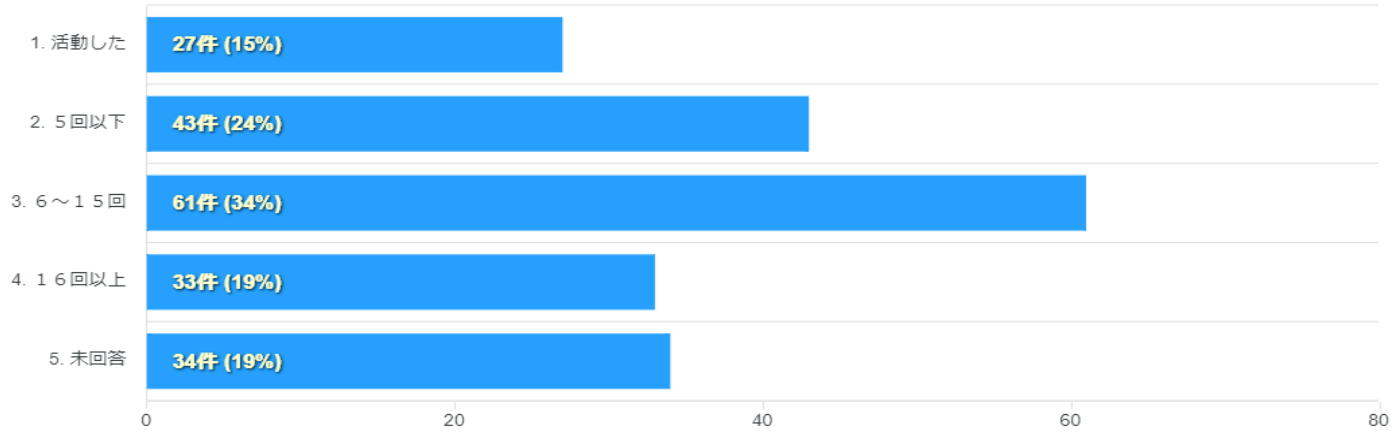
【回覧】



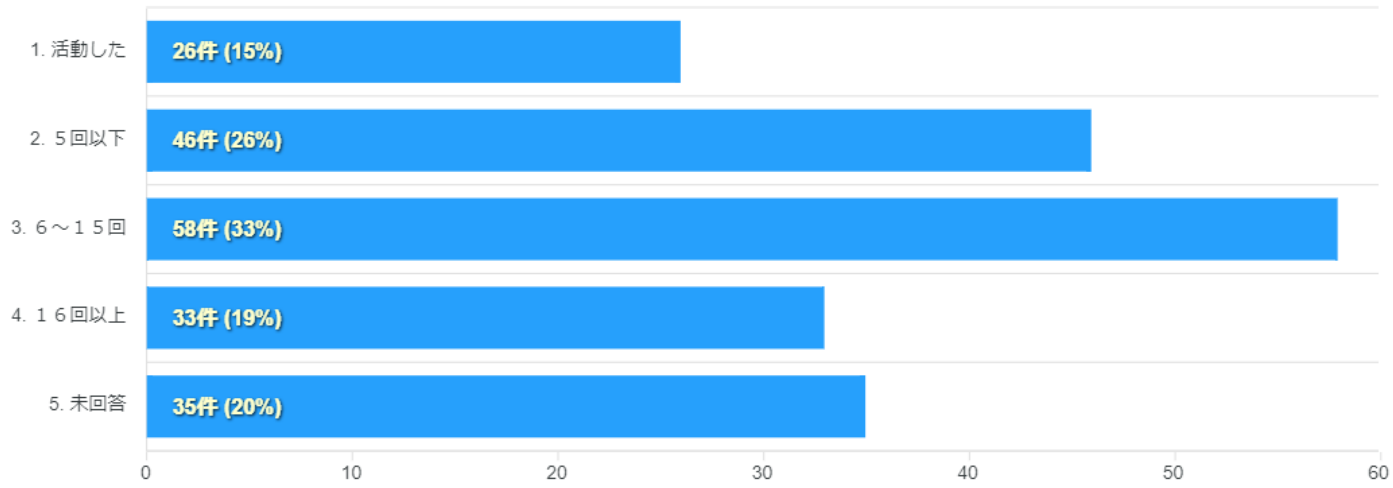
【会議】



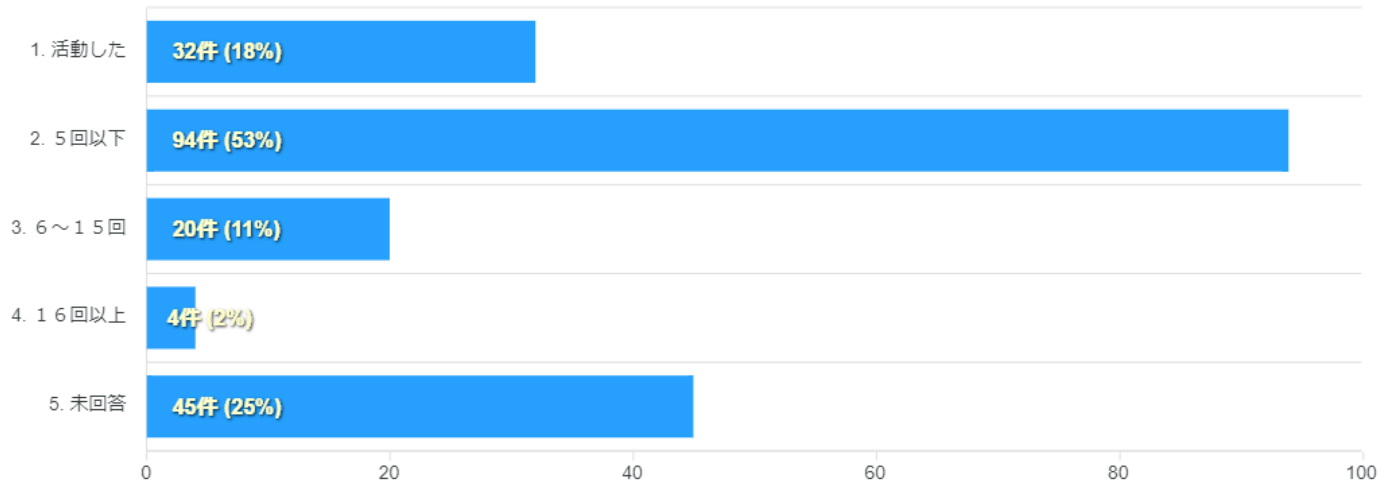
【書類作成】



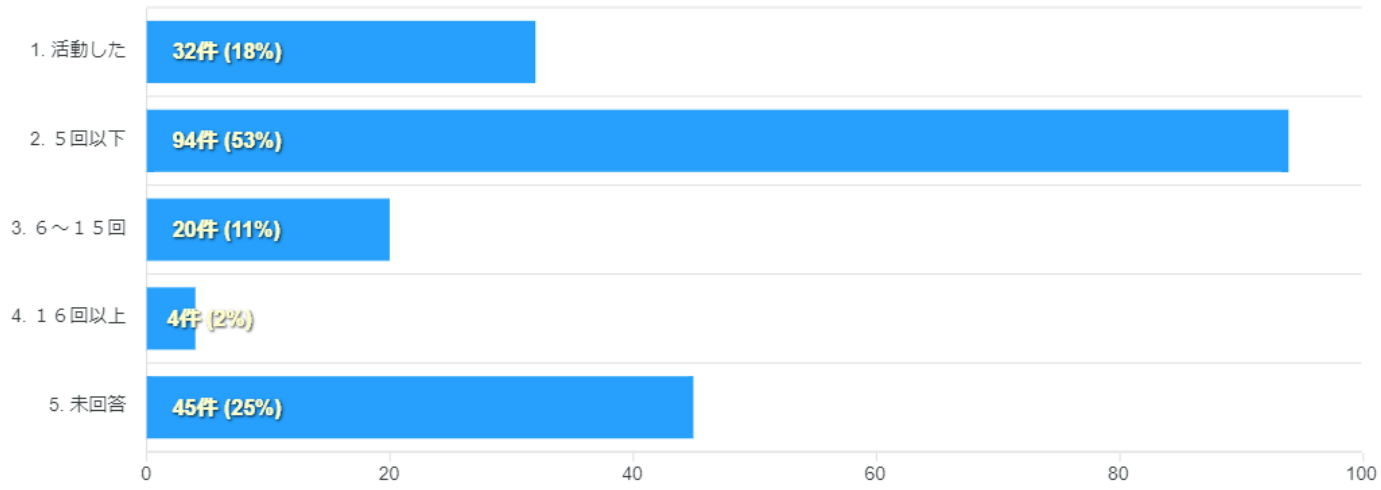
【電話対応】



【防犯灯の維持管理など】

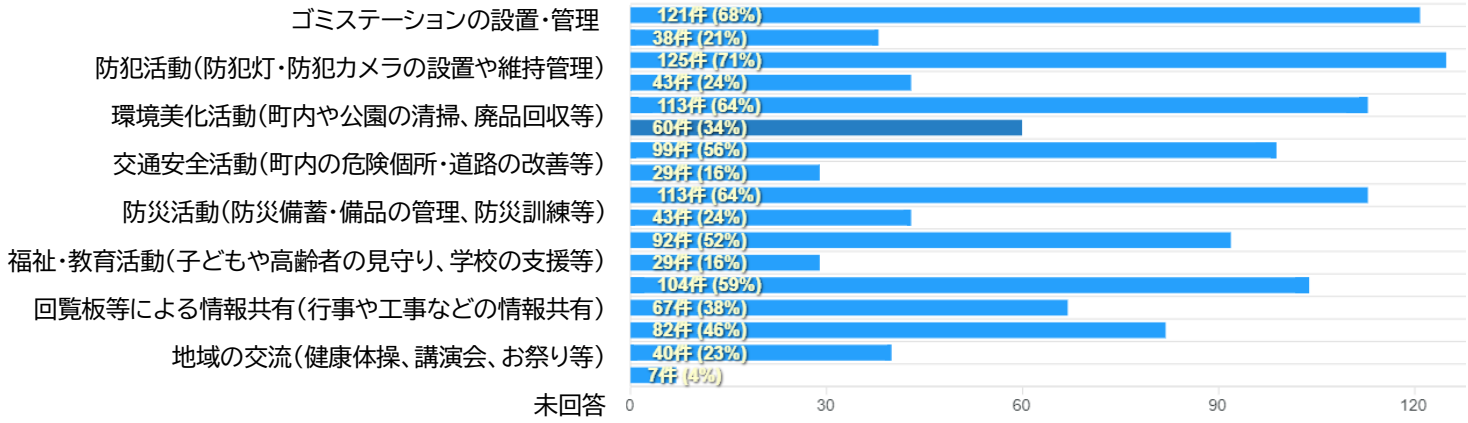


【その他】



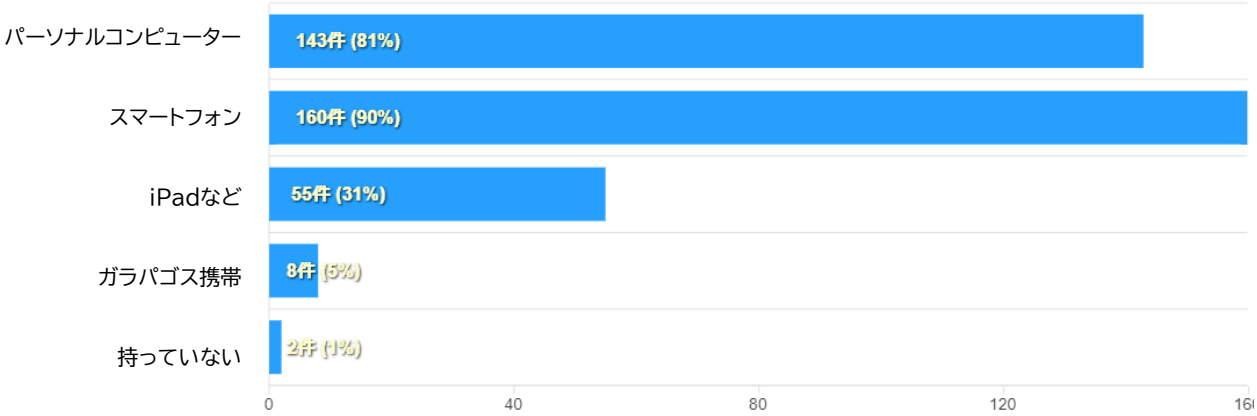
問11自治会・町内会を運営する上で重要だと思う活動と充足していると思う活動について

※（上段：重要だと思う活動、下段：充足している活動）

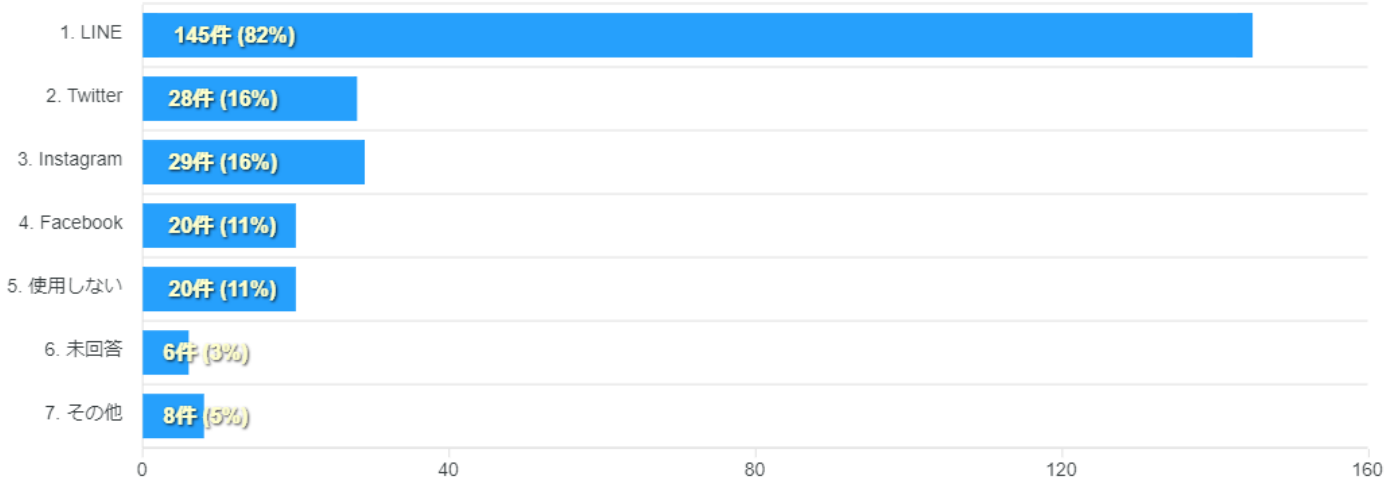


防犯活動・ゴミステーションの設置、管理・環境美化活動・防災活動においては、6割以上が自治会・町内会活動として重要な活動であるという認識があります。しかし多くの活動において、充足していると思う活動が5割を超えていないのが実状です。どのようになれば充足していると思えるのか今後の調査が必要になります。

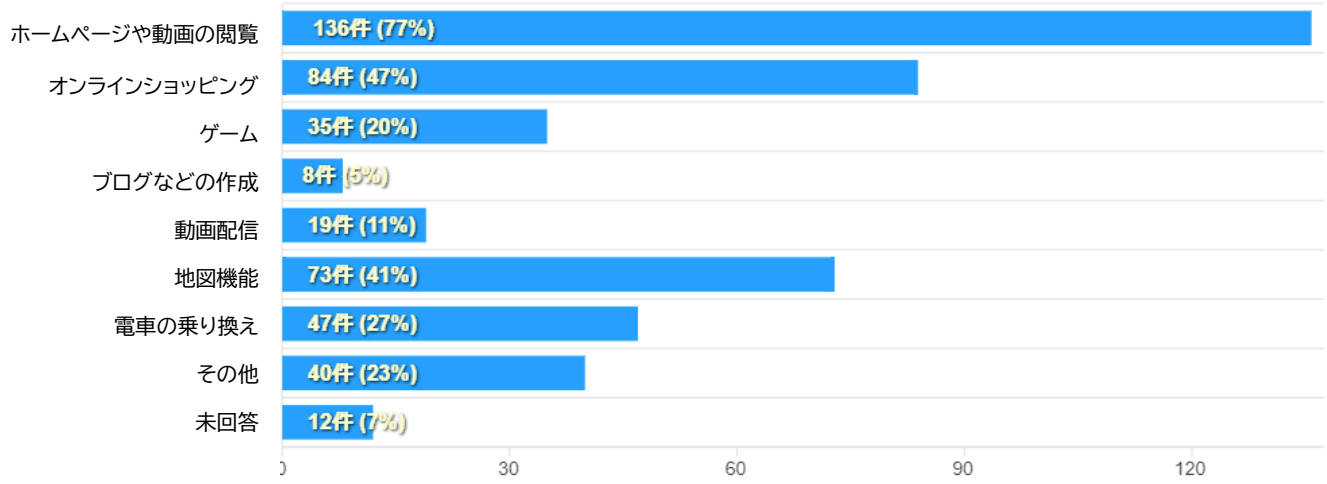
問12回答者が持っているデジタル機器について



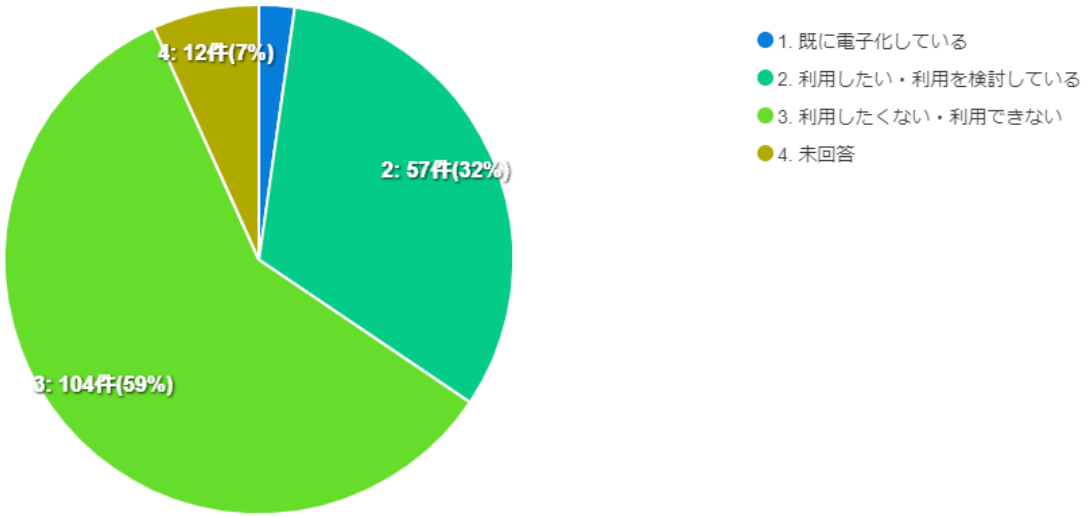
問13回答者がよく使用する SNS 等について



問14回答者の所持するデジタル機器の使用目的について



問15所属する自治会等の今後の回覧板電子化の可能性について

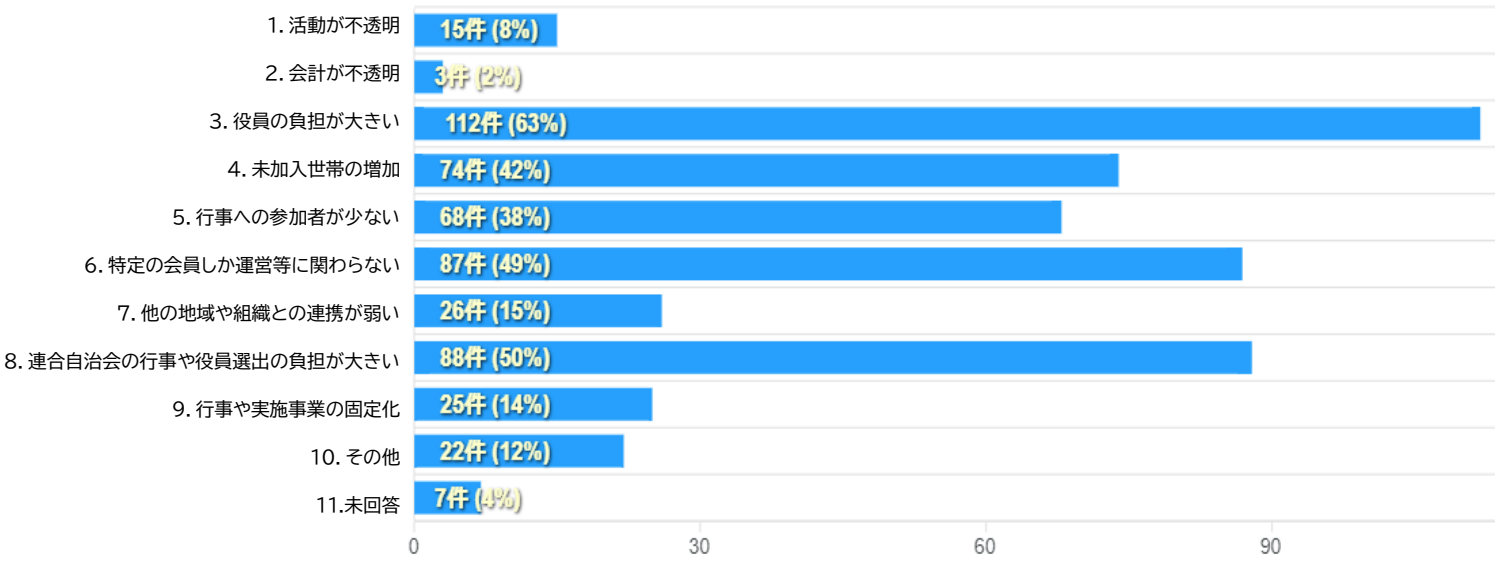


時代背景として、スマートフォンの普及や SNS 等（特に LINE）の普及が進み、どの世代においても親しみやすくなり、スマートフォンから動画を見ることや調べものをすることも一般的になりつつあります。しかしながら、自治会・町内会における電子化の導入は、導入時は良いものの電子ツールの管理、情報の更新等、特定の役員に負担がかかる、長年同じ担当者しか管理ができず、長く維持していくには、運営面で課題があるため、踏み出さずにいるケースもあります。

電子回覧板は、電子での情報配信にて紙面での配布の手間が省けるとともに、電子上に情報が残っていくため、過去情報の振り返りや会長職の引き継ぎをする際に役立つことも期待されています。一方で紙面での回覧板を使用することで、近所の方と日ごろからあいさつを交わしコミュニケーションを図ることや安否の確認を行えるなどのメリットもあります。他市自治会・町内会の事例では、電子デバイス、ツールを使いこなせない方もいるため、電子と紙面の併用を行うところが多いようです。

電子化の導入に関しては、活動の省力化のメリットと共に、運営面の管理やコストなどの問題も含め、先々のことも話あった上でそれぞれの自治会等に合わせて導入の検討をする必要があります。

問16自治会等を運営する上での課題



問17自治会等を運営する上での課題に対する解決策について

【活動内容・考え方の見直し】

- 防災活動以外は、やりたい人だけで市民団体としてやる。
- 役員の負担軽減
- 役員選出の負担について、役ができない人は免除して自治会費を余分に払うなど目に見える対策をする。
- 役員の手当て大幅アップ
- 業務の分担
- 名ばかりになっている副会長にも仕事を分担する。運動会の会議は会長が、敬老会は副会長が出席と、自治会や連合から指示してほしい。
- 誰でも気軽に参加できる日常生活の行動範囲内での自治会活動を提案し続ける事
- 顧問を採用してサポートしあって運営する。(実際に当自治会でやっている)
- 加入者と未加入者との差別化を図る。町内会でゴミ出しの場所を決め、管理しているのに市役所は町内会をやめても、出してよいと言っている。市役所が加入者と未加入者を平等に扱うことをやめる。
- 課題は配布するなどして共有する。
- 年々加入者、会員が減っているので自治会に加入、参加すると特典が付くようにするなど(例えば地域で使えるクーポンや割引、参加する度にポイントが貯まって商品、割引券とかに交換)
- 町内会活動への理解・関心を高め、参加しやすい体制を作る必要もあると思う。
- 運営・行事関係:高齢化による負担が大きいため、目が届きにくくなるという多少のデメリットがあるが、広域化が必要だと感じる。
- 防犯灯やカメラの設置など、最低限の事をしている静かな町がいい。

【活動内容の充実へ見直し】

- 未加入世帯に対して、特に防災で町内会が果たす役割についての理解を広めるためにチラシをポスティングするなど、活動に参加する事のメリットを見えるようにする必要がある。

- 日頃から住民と会話をしてコミュニケーションを取り、助けが必要な時などにも声掛けできるように努める事
- 防災の備えをしていることなど、メリットを伝える。
- 地域全体の一体化、問題解決に対する事業者意識の醸成
- 住人の高齢化が進んでいるので、高齢者が気軽に参加できる行事を行う。
- 文化を残しつつ、新しいものを取り入れていく。
- 非常に難しい問題。最終的には、魅力的な市、地域にして住民に郷土愛を育んでもらう事
- 子ども対象や、高齢者対象などターゲットを絞った催し物の工夫をするとか、特色を出す工夫をする。
- 子供に対する啓蒙活動
- 若い世帯に参加してもらうためには、子どもと繋がる行事等できっかけをつくったらスムーズにいくと思う。
- 未加入世帯の増加：町内会活動の見える化。組長経由で話に行く際、その町内会が実際にどのような活動をしているかの資料を用意することが必要だと感じる。

【活動の簡素化】

- 会合や行事を簡素化し、書面会議とする。
- 外部委託
- 不必要な活動の縮小、停止
- 区民運動会やソフトボールのメンバー集めを止める、そもそも人集めが大変なスポーツ大会を止める。
- 自治会そのものの必要性の検討。（民間業者に委託も検討の余地あり）

【活動の効率化】

- 役割のマニュアル化
- 回覧物の固定
- 役所の助成金の書類書きが１年交代役員には分かりにくい、また、申請、決定、実績報告と時間的流れも意味がない、年度後半に実績報告と助成金決定と１回でよい。大半は仕組みに慣れない人なので役員になる負担の１つである。
- 会長業務の引き継ぎが口頭で簡単に済まされて正直よく分からなかったので、一年の間に行った活動について手順などを記載した資料を作成している。自治会役員に報酬を支払う必要はないと思うが、報酬がなくてもやっていけるような程度まで負担を減らす必要がある。根っこは学校PTAと同じである。必要最低限、住民としてこの程度は負担しなければならない程度（この受け取り方は人によって違うが）まで削減しなければ、今後、役員のなり手だけでなく、自治会加盟者も減少していくと考える。
- IT を活用し、負担を減らす。
- 回覧等、デジタル化を進めたいが、高齢化がすすんでいるため対策が難しいのが現状
- 回覧などの配布物をやめる⇒HP、INEグループなどで対応
- SNS の活用は必須。ご近所さんの情報を共有するのも大切
- 年度末に提出する書類をすべてパソコンで提出できるようにする。

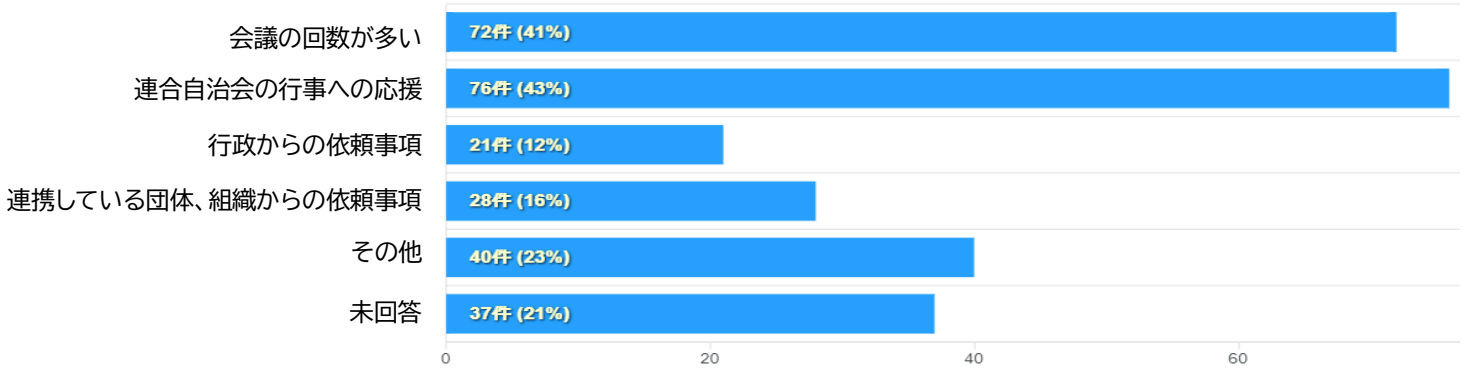
【その他】

- 町内会を一度解散する。
- 町内会の解散、対策しても入会者は増えないので無駄
- 行政がもっと積極的に環境美化・防犯・防災・公園設備に公費をあてるべき。(町内会ありきの運営となっている)
- 他県のモデル地区を参考にする。
- 事前に数年先まで会長を決めておく。
- 町内会員は市民税免除など、メリットが必要。また、役員は多数立候補が出るぐらいのメリットや報酬にした方が良い。
- 連合の会議は(代役)副会長等でもよしとしてほしい。
- 市が自治会 PR の雑誌をつくる。
- 防犯灯はすべての住民が負担すべき。
- 当番制なので役員が回ってきたときは仕方ないと思う。
- 町内会の編成のし直し
- 自治会や市役所などの行政からの何か還元みたいなものがあるといいのかも。

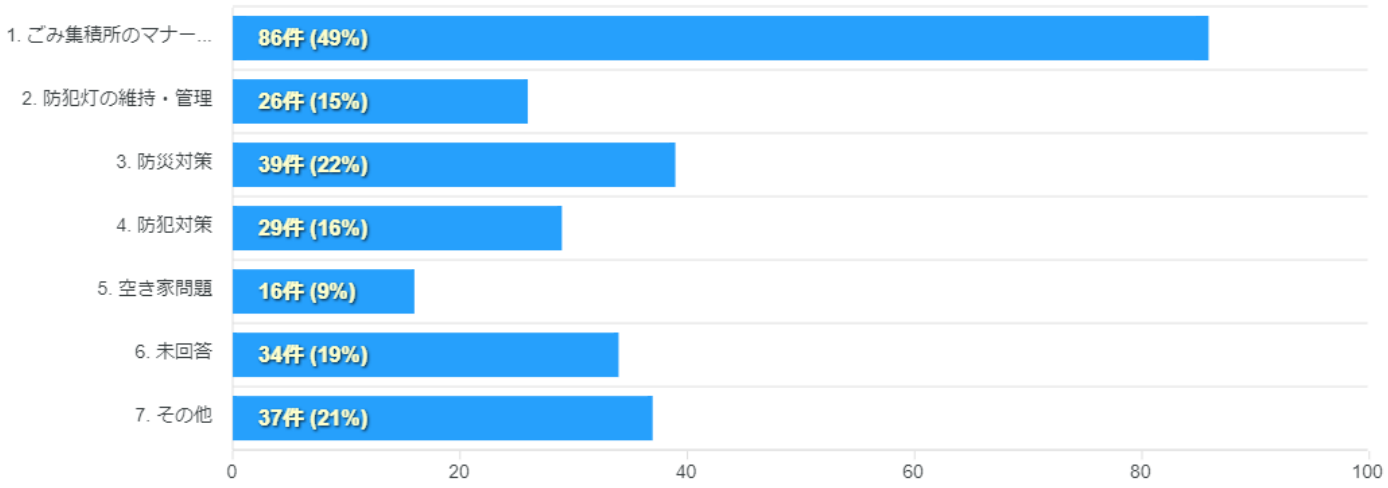
自治会等の課題としては、設問3. 8における役員の負担が大きい点が最も多い回答でした。これからコロナ渦が明け、コロナ前の生活が戻ってくると考えられます。役員の負担軽減のため、この機に必要とされている活動の運営方法の見直しを進めるため、会員へのアンケート等の聞き取りや活動の整理を行うことが好ましいと考えられます。

未加入世帯が増加傾向にあり、課題としても約4割の回答をいただいております。未加入世帯の増加には新規転入世帯の未加入と脱退による未加入世帯の増加があります。要因としては、少子超高齢化、共働き世帯の増加、価値観の多様化、役員を避けるなどの様々な理由がございます。地域コミュニティの重要性の理解を深め、活動の活性化を支援する必要があります。

問18会長として活動した中で負担だったことと行政からの依頼事項で負担だったこと



問19自治会等が抱える地域課題について



約5割近くの方がごみ集積所のマナーの問題を上げられています。全ての人に町内会内でのごみ出しルール、マナーの周知・徹底することは難しく、特に町内会への未加入に対してごみ出しルール・マナーの周知を行う必要があります。その他の項目に関しては、役員の担い手不足による運営の課題や行事・イベント運営での課題がございました。

問20自治会等活動について、日頃感じていることについて

【市政等に対する意見】

- 連合や社協の皆さんは、地域のためにボランティアとして頑張っておられることがよく分かり、頭の下がる思いです。また、町内では町内会長や自治会に詳しい顧問の協力で面倒なことも頑張って乗り越えてこられたのは良かった。最初は自分も含め、役員になったことを悔やみましたが、腹をくくって活動を共にすることで仲間意識も生まれたのではないかと思う。同時に、町内会を率いることの難しさや煩雑さ、関心のなさを感じたことは否めません。自治会として、会員は何を必要とし、何をして欲しいのかを常に考えていくことが大事かと思いました。防災や高齢者の見守りと言うけれど、なかなか難しい。防災用品はだいぶ整ってきたが、実際にテントを立てて避難所を公園に開設する訓練が必要だと思う。4 月に予定している町内会総会での意見交換はきっと厳しいだろうが大事だと思う。

- 防犯灯管理費を町内会費で賄うが、町内会入会してない家は負担してないので不公平感がある。

- 災害に備えるために、自治会・町内会は必要だと思うが、すでに今ある町内会は崩壊しつつあります。根本的に組織を考え直す時期にきていると思います。

- 自治会に未入会でも困ることは無い。災害時でも市民で有れば差は無い。

- 防災関係については、いざというとき本当に町内会単位で動けるかが不安な部分。連合自治会単位でも、不安に感じる箇所がいくつかある。

- 地域の苦情処理係となっていることが負担です。

- 連合自治会、社会福祉協議会からの会議・依頼が多すぎるため、次のなり手がいない。

- 業務を外部発注することや、役員手当をアップについて、市から連合自治会へ指導・指示していただくことが役の負担を軽減する解決策の初めの一歩と考えます。活動についても、見直しを市から連合自治会へ指導してほしい。

- 赤十字、赤い羽根の回覧物がたくさん残りました。配布物が多すぎる。催事部・生活環境部・地域安全部など、様々な活動があるのは分かりますが、もう少し統一したほうが良いと思う。

- ゴミボックスはカラス被害がなくなりよかった。

- 市にゴミの指定場所を平等に決めてほしい。

- 燃えないゴミの出し方が分からない人が多い。広報を読んでいない。

- ゴミ集積所のトラブルがとても多い。この清掃、後始末は町内会員がやっている。退会者が管理を放棄しているのに市民という理由でなぜそこが利用できるのか理解できない。市からの助成金すべていらないから市がやるべき。

- ゴミ問題で、不法投棄があり大変困っている

- どこに相談してよいのかも分からない。防犯カメラ設置、マナーについての貼り紙等やってほしい。

- ゴミ捨てのルールが守られていないゴミは、集積場から収集されずに残っています。分別ルールを守らずゴミを出す方は、町外の方や町内会に入っていない方です（ゴミの再分別作業の時、破棄された手紙の住所から判別できる）。現在、町内会の会員が収集されなかったゴミの分別作業を善意でしておりますが、再分別作業まで町内会の役割とすることに疑問を感じます。このため、ゴミ分別の指導を地域からの連絡に対応して市が指導できる体制としてほしいです。

- ゴミ集積所は町内会に加入されていない方も使用しているが、清掃等は町内会に加入している方が行っており、不公平感がある。

- ゴミ出しマナーについて、未加入者はネットもかけず、マナーが悪い。

- ゴミ集積所の維持管理を町内会がやることの負担が大きい。

- 公園管理は全て行政が行うべき。草刈りが年に2回は、少なすぎる。

- 公園清掃には、決まった人しか出てこない。

- ○○広場が一時避難所になっているが、コンクリート塀が老朽化していることと出入口が1ヶ所しかなく、不審者が入り込んだら逃げられないので心配

- ○○公園の清掃除草が負担

- 公園清掃関係について、ゴミ袋の受け取りが環境課か環境事業センターとなり、平日しか空いていないため都合を付けないと難しいのが大きなネックだと感じた。

- 公園が大きく草刈りが間に合わないので、刈り取った草は公園内数か所に野積みで終わりにしてほしい（草の袋詰めに手間が掛かるため）。役員は非常に負担が重いと感じるので、有償ボランティアにするべきでは？

- 行政が、自治会・町内会にやらせず、行政が行うべきことは税金で行政が行うべき。ぜひ、考えを変えていただきたい。

- 役員のなり手不足、退会者増加、入会者減で困っている。その理由は、行政の下請け活動が多く負担増・不満増につながっている。

- 回覧物、ゴミ集積所の維持管理、防犯灯の維持管理、避難行動要支援者の行動計画作成、赤い羽根・赤十字募金の代行等が負担

- 本来、行政サービスで行うべきことを自治会・町内会に押し付けていると皆感じております。

- 自治会・町内会は、本来「安心安全なまちづくり」のために自分たちがやれることを自分たちでやれる範囲で行う任意組織のはずです。それが、「行政の下請け」で疲弊し、存続できない状況に陥っているなら本末転倒ではないでしょうか。この問題を早急に解決すべく、行政が考え方を変えれば当面の間は組織を存続できるはずです。

- 守山区や長久手市を参考に地域全体開発をもっと参考にするべき。市役所に、開発プロ人材を雇い、アンケートを実施するなどして、若者が集まるスポーツ関連大型施設とか検討すればよいと思う。

- 行政として自治会・町内会に期待すること、補助できることをまとめたことなどを毎年、自治会長に知らせるシステムがあると、初めて自治会長になるものもとても助かります。行政の負担にならない程度で構いませんので、ご検討ください。

- ごみ・防犯灯・空き家、すべて市の仕事である。これらを町内会にやらせることで地域や町内を不協和音にしているのが現状である。

- 年々、脱会者・未加入者が増加していると思う。ゴミボックスや防犯灯維持管理等、会員費で行っているのに加入者と未加入者が同じように生活できていることに疑問を感じます。

- アパートや、マンションを建てた場合、その家主が斡旋業者に自治会加入を条件に入居させる用、市役所は家主を指導する。

- 市や連合から、必要性のアピールや、やっていることを伝えるべき

- 入会は、個人の意思でどうしようもないと役所は言うが、それでは入会者が減るばかりだ。

- 近所の未入会者の中には、市の職員や関係団体の人たちがいる。まずは、市職員の自治会加入が必須

- 役所、自治会長、町内会長出席での意見交換を開催してほしい。開催するとしたら、自分も1年会長をやって少し理解できたぐらいなので、会長になったばかりの年度初めに開催しても意見は出てこないと思う。

- 役員だけ行事の準備や運営に時間を消耗し大変なため、次の役員人選が決まらない。

- 幾つかの活動を通して、自治会や役所の対応に傲慢さが見えました。いくら SNS を活用してもそれでは新たな転居者・若い世代には魅力は伝わらないと考えます。

- 会長になるまでは、町内会の必要性をまったく感じておらずゴミ回収があるから加入しているというスタンスでした。実際、会長をやるとその裁量が問われました。数年前の会費値下げより赤字続きなのに放置されていました。今年度、いくつか見直しをしましたが、自治会がどのように活動して決議しているのかまったくわかりません。なので、要望です。
  ・町内会長へ講習をしてほしい→町内会でできること、成功例など
  ・気軽に相談できるサポートデスクの設置
  ・自治会の動きの情報共有
  ・必要性をアピール

- 地域のイベントや町内会の会議の実施にあたり「ふれあい会館」を利用する必要があるのですが、会館の予約が3か月前の月の初日からしかできず、一般予約と競合することに困っています。私と妻は平日の日中が仕事のため、会館の予約の電話をすることが困難です。会館を予約できなかった場合、地域行事の運営に大きな支障が生じます（町内会長の不手際として扱われます）。このため、年間スケジュールに沿って地域行事を運営する町内会の活動については、一般の方より早い時期に会館を予約できるような配慮がほしいです。

- 小中学校の後援会費が備品購入にあてられている様ですが、備品購入なら市が負担すべきだと思う。後援会費はそれ以外で使用すべきだと思う。

- 町内会より学校支援金を出しているが、もっと教育にいかせる使い方をしてほしい。私は、高齢のためいろいろ考えるが、何も役に立たないのが現状です。

- 小中学校の後援会組織や後援金に関して疑問。この資金を集めるための小中学校の先生方の負担は並大抵のものではない。財政が大変なのは承知しているが、小中学校の予算を増やして、教員負担を減らしてはいただけないだろうか。娘が小学校に行っている時、使用済み封筒に紙を貼って再利用しているのを見て、涙が出ました。

【デジタル化に関する意見】

- 今年度町内会長を務め、電子化を進めたいという思いもあったものの、必ずしもデジタル機器に通じている方が三役を担当するとは限らないことから、進めるのは難しいと感じた。とくに回覧の電子化などは個人的に興味はあるが、デジタル機器の操作が難しい世代も多く、そのフォローでデジタル化がかえって負担になるおそれがある。となると予算を付けるのが難しい。また、電子化となるとノウハウの引き継ぎをどうするかも大きな課題。連合自治会単位・市などで一気に進めなければ難しそうな印象

- 回覧板などを電子化すれば負担の軽減になるが、その環境を自治会レベルで整備するのには負担が大きい。また、自治会レベルでメーリングリストなどを作成する場合はセキュリティが心配であるため、おいそれと開けられない。

- 電子化には個人的には賛成ですが、今の町内はかなり高齢世帯ばかりなので、やや困難と考えます。行政の方のご負担が多くなると思いますが、いろいろなことを電子化、スリム化するのであれば、町内会の在り方自体役割を検討していただきたいです。勝手なことをすみません。

- デジタル化を進めたいが、高齢者が多く世代交代もしないため進まない。

【自治会等に関する意見】

- 会議や集まりが多く、忙しいと思いました。

- 防犯パトロールが、町内会長によっては一か月丸々土曜日行うことがあり、計画が立てられないことが何回かありました。

- 当自治会では、新たに運営費として役員受任者へ自己負担経費を補助することとし、集金は、コンビニで支払うシステムを来年度から実施します。

- 年間を通して、出席しなければならない行事が多いと感じるようで、退会を希望する会員が増えています。

- 防災活動は繰り返し訓練することが重要だとは思うが、同じ人が防災委員長を長くやっているため、その存在こそが円滑な運営の妨げになっていると思う。社会情勢が変化しているのに、町内会の在り方は変化していないため、遠からず行き詰ると思う。組織の在り方も含めて、よく検討し今必要だと思うこと以外は廃止するべきだと思う。

- サラリーマンしながら、自治会活動に参加するのは負担が大きい。組織運営に不慣れな方も多く、特定の役員しかできない。

- 高齢化もあり、自治会を維持するのは困難。市の考えで、回覧や会報誌の電子化も検討されているようだが、高齢者は利用できない。使用できない高齢者への安否確認など、紙ベースでも利用できるなど、市も検討が必要だと思う。

- 役員は1年任期で、組織運営のノウハウがないので相当な負担があります。

- 連合自治会の行事が多すぎて大変だった。自分は絶対イヤ！

- コロナ渦での活動が非常に難しかった。

- 町内会費の徴収に、何度も足を運ばなければならないことが非常に負担だった。

- 役員報酬に言及されていますが、報酬で解決する問題ではありません。

- 会員は、この活動に価値を感じておらず、やめたいのです。

- この現状を理解されている会員は、ここに関わることを避けるため、役員はなりたがらず加入率の減少に歯止めがかかりません。

- みんな、やりたくないと言っている。

- 高齢化と若年層の未加入は深刻

- 役が1年任期なので、見直しが進まない。このままでは、自治会はなくなると思う。

- クリーンアップ事業には予想外の多数参加がありました。案内の仕方や、行事の内容によって多数の方に参加してもらえることもあるかと思います。来年度は、コロナ明けで、行事が増えると思うので心配です。

- 仕事をしながらだったので、活動や集会が多く、大変だと感じてしまった。

- 連合の月1回の会議、町内会の班長会議等、古いやり方で柔軟性がなく、必ず土日夜にあるが自分が土日夜仕事なので2年間、とても大変でした。

- 大変だったけど、楽しくできました。知り合いも増え、年上の方とも仲良くなれて、得ることもたくさんありました。こういう、地域の仕事は少なくとも1回は引き受けてみると良いと思いました。ただ、運営の仕方と仕事量が多いので改善してほしいです。

- 役員の負担が多い。

- 町内会に加入していることのメリットが見えにくい。たとえば盆踊りのような行事も大事だとは思うが、役員にとって負担が大きいことも事実。負担が小さく、かつ時代にマッチするような催しを考える必要があるのではないか。

- 高齢化が進んでおり、役員選出が困難になりつつある。

- 住民が協力的だったのでスムーズです。

- 任期が長いのでやる人がいない。

- 高齢化による行事参加の減少

- 高齢者への見守りが不明確

- どんと焼きは〇〇校区だけ実施していない。理由不明。伝統行事がなくなっていくのは寂しい。次につなげてほしい。

- 仕事があるため、平日に銀行や役所に行かなければならないことが本当に負担だった。

- 役員をやったことで、いろいろ知る事ができたが、それでも町内会の必要性をあまり感じられなかった。必要性を明確にしていかないと、加入者がもっと減っていくと思う。

- 個人的には、必要性も分かるし大変なことも分かる、わかった。しかし、役をやらないと何をやっているのか、なぜやっているのか全く分からない。必要ではないのではと思ってしまう。

- ある程度、固定化されている一覧を作ってほしい。引き継ぎをする能力や中止事業など毎年入れ替わる人たちがやるのは無理

- 高齢化が進み、パソコン操作ができないために役員を拒否して、脱退や入会拒否されてしまう。

- 町内会活動は、苦労ばかりではなく楽しい事もたくさんありますと会員の方々に常に伝えています。

- 資料作成が容易にできるように改善したい。

- 日頃、近所付き合いが少ない中での活動は、盛り上がりに欠けることもあるが色々な行事や回覧することで、町の繋がり、楽しさを知ってもらうことは大切だと思う。

- 新規で住むかたは、町内会に入らない。

- 世帯数が少ないので、ストレスはありません。

- 町内会を脱退する世帯が最近増えた。新しく引っ越しされた方に入会を勧めても、断る世帯が増えた。今後、さらに上記が増えると思う。

- 無駄が多い。役員の高齢化で機能不全がみられる。

- 行事が多くて疲れました。

- 一般の参加者が少ない。

- 役員手当を出してほしい。

- 1年間経験してもよく分からないことが多かった。自治会の会議に出席しても、初めて聞くことばかりだし、書面を見ればわかる事だった。わざわざ会議に出なくてもよいのではと思った。

- 行事は多いし、参加者は少ない。やらなくていい行事が多すぎる。

- 高齢化してきている。行事は減らすべき。

- 会長の負担が圧倒的に多い。

- コロナの影響で行事が中止になったのでコロナ以前の活動より少なかったとは思いますが、回覧の多さには正直驚きました。はっきり言って「回覧しても誰が見る？」というものもたくさんありました。

- 令和時代に合った紙ベースのない方法に変更してもいいのかなと思います。

- 会員の方の活動に対する理解が少ない。

- 今回、初めて町内会長を務めました。今までは、町内会や自治会とはほとんど関わりなく過ごしてきました。今回、町内会長をすることで町内会活動や運営を通じて地域の人たちと繋がりが出来たこと、大変良かったです。町内会活動を運営するのは確かに負担ですが、自分の住んでいる地域とより深く繋がる意識が生まれたことはとても良かったと思います。この思いを、今後役員をされる方々にも継承していければ、よりよい地域環境が熟成されるものと思います。

- 少子高齢化に対応した事業へシフトしていくことが必要だと考えます。（年間を通じたラジオ体操や矢田川の散歩道を整備して散歩大会など）

- もう少し会長の業務を減らすべきです。子供達の数か減少、昔と違いお祭りなどの行事に魅力が持てない子供達が多いのに旧態依然とした行事内容になっている。

- 共働きの家庭が大半。仕事も昔と違い平日の休みや不定休が当たり前なのに、清掃活動などの大半の行事は土日に集中しているため参加するには仕事を休まなくてはいけない。

- 30代～40代は仕事も忙しく大事時期でもあるのに休まなくてはならず、こんな現状では自治会長、町内会長どちらもやりたい方などいないです。

- 自治会長、町内会長が近く回ってくるので町内会を辞めてしまう人も現にいます。

- 行事への参加者が少ない。募集が大変でした。

- 小学校や中学校の寄付という名の強制集金（集まる寄付金を予算化までしていることに大きな疑問を感じます）を、なぜ町内会に押し付けるのでしょうか？有志の方がご自身で学校に持参または振込すれば良いと思います。

- 今後も自治会や町内会活動を続けていくのであれば、役員の負担軽減と行事の縮小および廃止を進め、持続可能な活動を目指していただきたいと思います。

- わざわざ集まらなくてもよい会議が多く、集まりやすさを考慮してだと思うが、日曜日夜7時からの会議であり、勤めていると憂鬱でしかなかった。合理化や効率化を進めるべきだと思う。また、盆踊り等の行事は、地域有志とその賛同者にお任せするのが良いと思う。

- 仕事と町内会の両立が難しい。役員をやりたくないため、脱会する方が増えている。手当を出すなどして、向いている方にお任せするほうが良いと思う。

- 行事を行う上で、他の団体と運用方法が少し異なるため、話しがうまくまとまらないことがある。若い人で現役の人には負担を感じるかもしれない。

- 2町内会の再編成を行い、令和5年度から新組織で運営ということになりました。実効性のある町内会にするため、さらに他の町内との編成が必要だとは思うが、任期1年では難しいのが現実である。これまで、例年行われてきた行事を継続していくだけで精一杯でした。

- 役員のなり手不足

- 町内会に入会していない人が、参加したいとの声も聞いている。

- 町内会入会の仕方の多様化が必要では？（会費のみの会員など）

- 町内に住んでいる方々のことを知らないので連帯感が感じられない。知らなくても生活に支障はないので気にもしない。しかし、ずっとこの地域に住み続けるつもりなので少しでも生活しやすい環境を整えておきたいとは思う。町内の人ともっと仲良く楽しく暮らしていければと思う。高齢者になって活動範囲が狭くなったら家の近くで楽しみたい。

- 行事の効率化、簡素化を検討したが、長年に渡り継承された事業・行事が多く、簡単には出来ない。班長3回、副会長1回、会長職をやってきたが、改革はなかなか難しい。

- 連合主催の会議等、負担をすごく感じた。自治会、町内会のことだけなら負担は少ないと感じた。

- 2年の会長職がもうすぐ終わりますが、日頃会うことがないいろいろな方たちと協同作業ができたことはプラスだったと思います。

- 連合の関係は負担がすごくてプレッシャーです。共働きの方たちもできる様、町内会・自治会の活動だけで十分だと思う。

- 会長は、輪番制だが次年度が高齢者で、できるか心配。かといって、ほぼ高齢者なのでこの先どうなるか。

- 共働きのため、銀行に行くのが大変。二度とやりたくない。

- 町内会費が高いと感じるのでイベントを減らしたほうが良い。区民運動会とソフトボールの参加者を無理して人を集めている状態なので止めるべき。今後も個人情報を町内会長が適切に管理できるか疑問である。（輪番で当った方の資質が心配）

- 子供が楽しんで参加できる行事を増やしたら、親も出席してくれると思う。私自身、手術を何度も受けながらも、公園清掃・会議・パトロールなどすべてに出ましたが、若い世帯の方が少ないのが残念でした。

- 10年住んでいたのに知らないことだらけでした。以前から住んでいる方と、新たに入られた方との意識の違いがあり、難しいと感じる場面が多々ありました。コロナ渦から行事がまた復活した年で、他の役員の方も大変な1年だった。次年度へ上手く引き継ぎたいです。

- コロナ禍で仕事や家庭生活でも日常的に負担が増え、休日は休息し、ゆとりを持ちたい。自治会活動でゆとりのある生活を目指しているはずが、逆行している事。高齢化により、IT ツールを苦手とする世代が存在する事もある。自治会ニュースの地域課題解決活動内容を次年度の参考として自治会に提案したい。

- 高齢化や共働きで役員をできないから、脱会される方がいる。

- 運動会に高齢者が多く、積極的に参加されてはいたが倒れるのではないかと心配だった。

- 小さい子を育てながらの共働き世帯、高齢者には行事や集会がとても負担です。一町内会の声は自治会には届きません。どうか市の方から、行事を減らすように提言していただきたいです。

- 運動会などの準備は、高齢者には辛かった。子供の親世代にお願いしてほしい。

- 子供が主役となる行事を多くすると良い。現在の行事も子供が主役となるように考えるべき。

- 役員になると、生活が脅かされるくらい仕事がくるので、ストレスです。

- 高齢化で、やりたがらないしやれないから、70歳以上は役を外してほしい。

- 連合の行事以外にも、町内行事や計画・実施など様々な仕事があり、大変だと感じた。

- 組長の高齢化により、負担がかかる仕事はその方を外すようにした。

- 日頃会話する事ない他の組長さんと会話する良い機会となった。

- 日々会社生活に時間が取られる方には、厳しい面があると考えます。

- 役員になっても、意見を言えば自分が動かなければならないので、何も言わず1年過ぎるのを待っている人が多い。

- 行事への参加減少、とはいえ高齢者には頼みにくく、無関心の人が多い。愚痴しかない。

- 自治会・町内会の存続維持が今後さらに厳しくなる。加入のメリットを沢山増やしてほしい。

- 役員の手当てが少ない、会議の回数が多い。

- 防災などを考えると、地域の繋がりは絶対大切だと思う。が、現実は仕事に追われたり、人との関わりが希薄になっていると思う。個人のコミュニティ以外に関心を向けさせることが厳しく、打開策がわかりません。従来のやり方を今もやるのは、本当に難しいと感じ、辛い1年でしたが、関わることでいろいろ知ることができ、良かったこともありました。

- 1年、町内会長をやりましたが、自治会書記の方に助けて頂いてなんとかできました。会長・組長の負担のレベルは人それぞれだと思いますが、補いながらやるしかないと思います。未加入者を不公平だなと思うのも事実です。役をやって、住んでいる町が多くの人々の力で安心・安全・快適が保たれていると知れました。役をしない人にも知ってもらえると意識が少し変わると思います。

- ゴミのマナーが悪い、公園清掃、防犯パトロールの参加者が少ない。

- 自治会長の仕事は、連合役員の仕事が70％を占めている。そのため、自治会のやりたことができない。連合の考えが古く、副会長がサポートできず、機能しない。

- 自治会長、副会長は仕事の負担、時間の拘束が多いので役員活動費をもっと増やしてもいいのではと思う。

- 町内一斉清掃は大切だと思う。年に2回ですが、コミュニケーションもとれてきれいになり、清掃後は清々しい気持ちになります。

- 活動に無関心な人が多い。

- 役員には報酬を出すべき。

- 新しく住むかたはなかなか参加してくれない。

- 問題が起きた時、誰に質問すればよいかが分からないことが多々ある。行事ごと、代表者の連絡先を設けるとよい若い人や子供のイベント等は、町内会ではなく市が主催してやるべき。行事や会議は少ない方がいい。

- 高齢者が多く、役員を引き受けてもらえないことが多く困っている。

- 役員の負担が大きい。

- 未加入者の入会依頼、祭りの参画、高齢者の退会、高齢者の要支援、通学路の白線不鮮明、防犯パトロールの参加者不足、小学生の登下校パトロール員の不足、〇〇集会所の老朽化、行事の負担が大きい。

- 敬老大会も、元気な高齢者だけ還元されるような行事は不必要。

- 回覧物をなるべくまとめて回したいので、予定表があるとありがたい。

- 町内会未加入者に対して、若年層に限定した言い方、書き方をするのは間違ってると感じている。役員が嫌で退会する高齢者層も多い。

- 地域の人と繋がりやすくなることは感じるものの、町内会、自治会に加入するメリットを感じられない。

- 行政の方にはご迷惑をおかけしています。お世話になっております。町内会の会長、町内会運営について、コロナ禍で全く交流や活動はなく、そもそも活動内容も知りません。引越しして町内会に入りましたが、前に住んでいた市内の町内会とは全く違いすぎて戸惑っています。町内会に入っているメリットもなく、入っていなくてもなにも変わらないのでは？という感じです。

- 活動がないため、町内会費を集めても使うこともありません。今の町内は世帯や参加されている世帯も少ないので、地区の統合など検討できないでしょうか？また、仕事を持ち町内会の活動をしたいのですが、いまは実際に土日祝日しか休みがないので、役所にも相談に行けません。

- 土日にも相談や受付できる機能を検討していただけないでしょうか。高齢社会だからこそ町内会のコミュニティは重要と考えていますが、町内会の役割が見えていません。

- 自治会・町内会の活動が大切であることはやってみてよく分かりました。ただ、仕事をしながらの活動になるため、行政への相談等はほとんどできなかったです。防犯灯の補助など例年行われていることならば、引き継ぎがしっかりされますが、随時入ってくる諸問題は、知らないことが多いと感じました。

- 行事に誰も参加しないので、町内会自体必要性を感じません。

- 自治会長・町内会長の負担が大きい。

- 活動範囲が多岐にわたっている。役割分担するか活動内容を減らさないとますます町内会への加入者が減ってしまうと思う。

- 2年間コロナの影響でほぼ活動がなく、今年度は試行錯誤しながら進めていた。活動内容をもっと分かりやすく次年度に引き継ぐ必要があると思う。

- 連合自治会が張り切りすぎて、町内会が振り回されている。連合自治会がらみの仕事（運動会、夏祭りなど）がなくなれば、町内会の負担がかなり減ると思う。

- 形骸化している町内パトロールなども不要。

- 防災に関して。住民は、災害が起きた場合は小学校などの避難所に行けばなんとかなるという感覚だが、確かに冷静に考えれば、学区の住民全員が小学校体育館に入れるはずもない。すると、一時避難所の役割が重くなるが、水道設備もなく夜間照明設備もない一時避難所もあり、できることは限られる。そして、いざ、それを運営しなくならなくてはならなくなった時、対応できる自信も設備も物資もない。

- 秋祭りに関してはこれまでの経緯から子ども会をベースに、〇〇町内会との共同で運営しているが、3年連続で中止になった後、今後どうするかの提起があった。また同じ〇〇町でも〇〇町や〇〇町は子ども会の運営が難しく秋祭り中止と聞く。「町内会」ではなく「自治会」をベースとするなど、運営体制の広域化が必要かもしれないと感じる。

- 町内会の高齢化

- 不公平感が今後増大していくと考えます。いくら今の重要性をビラ等でお知らせしても見たいものしか見ない中で、会長だけでなく地域全体で同じ危機感を共有できれば理想です。新しい住民に対して直接お声かけしたお宅はほとんど入会いただけたので、会の維持を最重点として電子化とかではなく、この一点に絞り、シンプルな町内会とイメージできるようにしていくべきと考えます。

- 区画整理事業中のため、電柱の撤去に伴う、防犯灯の移動などの、連絡、費用の処理など雑用が多い。区画整理事業で、家が移動するため、町内の境界が難しい。

- 町内の方々が活動について知らないことが多い（防犯灯やごみは町内会で管理とか）。そのことによって町内会に入らない方ややめる方が増えてきた。

- 現役世代では休みの日しか活動できない。仕事が忙しいときは特に辛い。ただ、地域のいろいろな人と関われたのは良かったかなと感じている。ただ、町内会のあり方については昔と同じではなくもっと新しく変えていく必要がありそう。

- 近隣との付き合いが弱くなってきていて、何かあったときの事を考えると不安に思う。

3まとめ

本アンケートは自治会長・町内会長を対象として、自治会・町内会の課題や支援ニーズを把握するために行われたものです。

本アンケートの結果はもとより、市の地域コミュニティの中心的な役割を担う自治会・町内会の皆様からは、今後の自治会等の在り方、公共性の高い自治会等活動の負担感、市の支援方策の問題点など様々なご意見が届いております。自治会・町内会活動の重要性の理解を深めると共に時代にあった活動内容への見直しや負担軽減など、活発な活動が継続できるように支援していきたいと考えております。

今後につきましても、本アンケート結果を市事業の参考とさせていただくと共に、持続可能な自治会・町内会活動の課題解決に向けた対策を検討して参ります。